

# 重要會務報告

○団体契約運動に関しては、大分金庫に於ける契約を運用し全労連業平和発展のため自主的訓練に依つて労資の合理化を計りつゝあり特に注目すべきは、枕元労働王組合と業上側組合との團體契約の復活は、京都地方の創期的事業である。更に白鷺ラ下、仙銅関係に於ける交渉模様の確認も亦本年度の収穫でありこの事は労働組合への躍進の現現である。

○十万突破運動に因りて昨年度大會及同人會の決定に基き、本年繼續事業として特別委員を十月十八日に改選し、三回の特別委員を召集して組織力への方針を樹立し、大分が中心となる面低を中心として實際的に然問題の解決を企て、運動目的を達成し、高揚する方針をとつた後、ついで解散の増大を来たし、いかに労働組合の発展に依つて労働者の利益を確保し、これを維持するべきである。

○昨年度大會の決定事項である、インフレに依る賃上げ運動は、亦北前なる効果は上げ得なかつたが、詳細な運動の針は、本年最初の臨時大會に決定した。このための努力は、今後更に増進される。

大工場を救へる。

○工場法健法脱法行為に對しては、従へ本具體的事業を摘発して、行の工場課に抗議してこれらが適なる解決をせしめ、前下工場を救済するべく努むる。

○メーデー斗争に因りては、本年度も亦同會團體として小委員を推挙して、責任を負ひ、給司盟精神を發露して、勢力的なメーデーを闘ふべく。

○日本經濟危機に於ける労働者生活の改善問題に就き、水井氏の演説に依り、本明書撰取文を作成して、各関係者に交付。日印通商条約破壞に依る犠牲者救済の爲ら、各工場にまた、自主運動の各方面に、二水が集會を、労働者論の面起し、努力した。

○女工根拠所見學團を組織して、自治会等を見守る。

○各工場支部に於けるは、其活動の一方法として、同組合員に依つて、そのし、時を定めて、同組合員の機回を通じて、共同福利のため努力し、つゝあり。